

東日本大震災宮城県の被害

死者 9,472 人
行方不明者 1,880 人
住家全壊 82,697 棟
半壊 128,516 棟
(12月7日県の調査)



ポラリス（北極星）と Xmas ツリー

津波で町の中心部が全て流された南三陸町

志津川に“笑顔を取り戻してほしい”と

1本のクリスマス・ツリーが植えられていた。

撮影 神馬 悟 12月23日 南三陸町志津川で

県の調査で、震災遺児数は 720 人、震災孤児数は 126 人。126 人のうち 124 人は親戚等による保護、2 人は児童福祉施設に入所しているという。どんな時でも見守ってくれるはずの両親がいない子どもたちは、どのようなクリスマスを迎えたのだろうか。

クリスマス・ツリーの近くには、大津波襲来時、多くの町民の命を救い、自らは大津波に命を奪われた、遠藤未希さん（24）の勤務場所の防災センターがあり、訪れる人が手を合わせていた。まさに激動の 1 年だった。これからも私たちは、震災後を見守り続ける必要がある。団欒の灯りはなく、信号機だけ点滅する町の空は満点の星だった。



南三陸町防災センターの建物



健やかに育って

母親学級
坂総合病院

12月20日、坂病院では新米ママさんのために「母親学級」が開催されていました。職員からは、助産師の若澤優子さんと長谷川奈緒さんが参加。この日は、円筒形の布に綿を入れてのクリスマス・リース作りとデザートの作り方のお勉強。楽しい会話の中には子育ての情報交換や震災の事も。みんなと話す事が何よりの安心につながっているようでした。

